学校番号	２００３

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)美術応用演習Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次 後期
使用教科書							
副教材等	プリント教材他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

豊かな表現力を身に着けることを目標に各種課題制作を行います。テーマのあるデザイン・ポスターに挑戦（公募または自由制作）、希望者は油彩大作も可能。各々が主題を明確にし、自分なりの価値の創出に全力で取り組みます。グループワークで思考力・表現力を高めます。
材料費の徴収があります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】画材の特性や道具の扱い、社会や文化における美術のなりたちや役割を知り、意図に応じて生かすとともに、生活や感情にもたらす効果や造形的な特徴などを考慮し、表現方法を工夫し主題を追求して創造的に表す。
【思考力、判断力、表現力等】目的や条件、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構造について考え、自らの感性を十分に発揮して創造的な表現の構想を練る。
【学びに向かう力、人間性等】　主体的に目的や条件、自らの感性や思考などを基にした表現の創造活動に取り組み、完成させようとする。
主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて思索し自らの感じ方や見方を深める鑑賞活動に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な描写の技能や色彩の知識、画面構成技能等を身に着け、画材の特性や扱い方を知り、表現方法を工夫し創作に取り組んでいる	感性や想像力を働かせて、芸術と社会や自然とのかかわりを知り、自己の内面を見つめ、自ら主題を生成し、造形的な視点を働かせて創作活動に取り組んでいる。	美術の幅広い創造活動に主体的に取り組み、グループワーク等に積極的に参加し言語表現等においても十分に自分の考えを表現する。 課題の趣旨を十分に理解するとともに、個性を発揮し、表現において自分なりの価値を創出しようと努める。 課題の提出状況において十分に主体性が認められる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	平面絵画作品課題	錯視等といった絵画作品制作	a:錯視等といった視覚的効果を理解し、構成要素に生かす。主題に合わせて色彩を効果的に用いる。構想を練り、構図を決定する。 b:美術と社会や環境とのかかわりを理解し、自ら主題を生成する。画材の特性をよく理解し構想を練り、主題に合わせた画面構成をめざす。 自らの感性を生かし、計画を立て、自分なりの価値の創出をめざす c:相互評価やグループワークを通して意見交換を行い、各自の創作表現を深める 粘り強く取り組み、細部まで高い完成度をめざす。	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度